

## 臨床実習

## 臨床実習

《担当者名》責任者：教授/ 長澤敏行 nagasawa@  
各分野教員全員（臨床実習 の各科の担当教員参照）

## 【概要】

臨床実習 では、基本的診療についての知識、技術、態度について各科に分かれて学習したが、臨床実習 では、それらの連携を重視し、包括的な歯科医療を実践する診療内容に重点をおき、歯科医師としての仕事の多様性を理解し、卒後の歯科医師臨床研修及び生涯学習のあり方を学修する。

## 【学修目標】

臨床実習 で学習した各分野の基本的診療についての知識、技術、態度を統合し、包括的な歯科医療を実践するための知識、技術、態度を修得する。

歯科医師臨床研修及び生涯学習を行うために必要な根拠に基づく医療(EBM: Evidence Based Medicine)の基礎を修得する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	包括的な歯科医療を実践する。	歯科クリニックでの一口腔内単位での包括的な歯科医療を実践する。	
120	包括的な歯科医療についての知識の整理、統合	臨床ゼミによって、包括的な歯科医療についての知識を整理、統合する。	
	EBM(Evidence Based Medicine)の基礎を修得する。	自験例について症例報告書をまとめるとともに、臨床的課題についてエビデンスを基に考察を加える。	

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

臨床実習 で課せられた課題の総合評価

## 【教科書】

5年次までに使用した教科書、資料すべて

## 【備考】

PubMed (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/>)、Minds(<https://minds.jcqh.or.jp/>)

## 【学修の準備】

与えられた論文について予め調べる。(50分)

診療予定内容について、十分に復習をする。(60分)

パワーポイントを用いて発表資料を作製する。(60分)

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。(専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。(多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。(社会における医療の役割の理解)

## 【実務経験】

指導歯科医講習会を修了し、臨床研修指導歯科医の要件を満たす歯科医師が担当している。

**【実務経験を活かした教育内容】**

大学病院、歯科クリニックでの実務経験を活かし、歯科保健・医療・福祉等の分野で、高度に専門化した歯科医療において包括的な臨床の教育を行う。